

令和7年のご挨拶を申し上げます。

令和6年は能登半島地震が発生し、さらに豪雨災害に見舞われた1年でありました。未だに復旧もままならない状況が続いており、1日も早い復旧・復興が行われ日常生活が戻ってくることを願っています。

さて新型コロナウイルスが世界規模で感染者の蔓延が見られましたが、ようやく史跡めぐりも年6回の開催を実施する状況とになり、毎回会員の皆様のご参加に感謝申し上げます。

一方で本会の会員も高齢化と共に1日日程の活動も難しくなっており、半日日程での活動となっております。引き続き今後とも無理のない計画としてまいります。

さて、本会は昭和35年9月祭会いたしました。この間毎年機関紙「県史史談」を発行しており、会員の減少はありますが、1年でも長く発行して行きたいと思っております。

最後に、皆様の一層のご健勝をお祈りしております。

県史史談会 会長 内藤佳康